

# Port of Hachinohe

No. **35**  
DEC2011

---Maritime & Trade Report---

## ■注目の最新情報

中国・韓国航路が週2便  
寄港再開しました!!  
(詳しくは2ページ目をご覧ください。)

## ●今号の主な記事

- 八戸港初、小口混載貨物輸出サービス開始
- 八戸港東南アジアコンテナ定期航路  
交流ミッション 2011
- 補助金対象者拡大のお知らせ
- 八戸セミナー 2011 開催
- 八戸市海外経済協力員レポート

## 八戸港初、小口混載貨物(LCL)輸出サービス開始



八戸港に入港する南星海運株のコンテナ船

8月29日(月)からジャパン・バン・ラインズ株(東京都)が、釜山向けに、八戸港初となる小口混載貨物の輸出サービスを開始しました。これは、八戸港のコンテナ定期航路のうち、中国・韓国航路(船会社:南星海運株)のコンテナ船を活用したサービスとなっております。このサービスを活用することで、釜山港経由で世界各国70箇所以上に配送可能となります。

この機会に、ぜひ、八戸港のご利用をご検討ください。

### 八戸港から主な仕向け地への所要日数

上海7日、香港12日、基隆6日

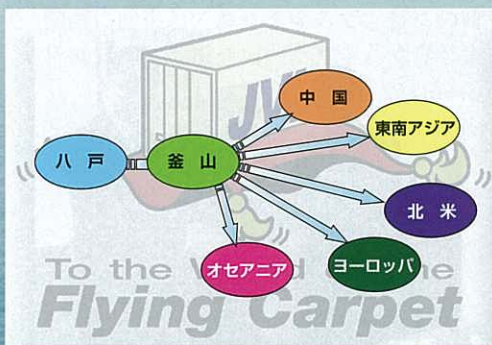
また、八戸港国際物流拠点化推進協議会では、小口貨物の荷主様向けに助成制度を設けております。詳細は3ページをご覧ください。

### 【小口混載貨物のお申込み・料金等のお問い合わせ先】

ジャパン・バン・ラインズ株 国際複合輸送営業部 (Tel 03 - 3434 - 9411)  
八戸港湾運送株 コンテナ営業課 (Tel 0178 - 29 - 3177)

### 【小口関係の補助金についてのお問い合わせ先】

八戸港国際物流拠点化推進協議会 (Tel 0178 - 43 - 9244)  
(八戸市商工労働部産業振興課内)



イメージ提供: ジャパン・バン・ラインズ株

## 中国・韓国航路 週2便寄港再開

南星海運株が運航する八戸港の中国・韓国コンテナ定期航路は、東日本大震災前に週2便寄港しておりましたが、震災後、5月に寄港を再開してからは、週1便の体制になっておりました。

八戸港のコンテナ貨物量の回復により、12月から週2便の寄港を再開することとし、八戸、釜山、釜山新港、秋田を経由する航路が増便されることになりました。

今回の週2便の寄港により、八戸港の利便性が向上しましたので、より多くの荷主の皆様へ八戸港をご利用いただきたく存じます。

中国・韓国航路 寄港地	
金曜便 (12月より)	釜山～釜山新港～秋田～八戸～釜山
水曜便	釜山～新潟～苫小牧～八戸～釜山～ 蔚山～光陽～寧波～上海

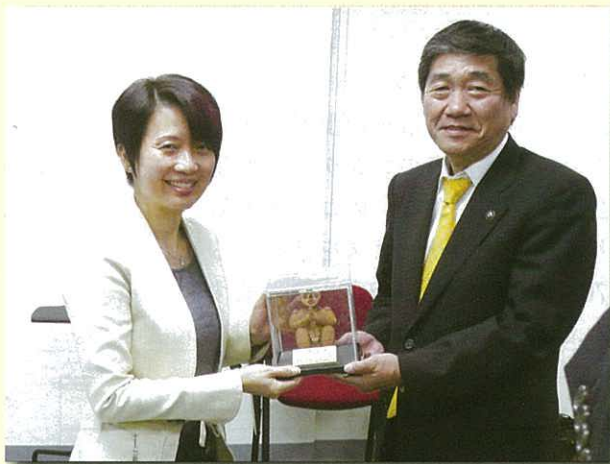


金曜日便で寄港する Pegasus Plenty

### お問い合わせ先

南星海運株代理店 八戸港湾運送株  
コンテナ事業部 コンテナ営業課  
〒031-8608 八戸市河原木字海岸 16-4  
TEL 0178-29-3177 FAX 0178-29-3119

# 八戸港東南アジアコンテナ定期航路 交流ミッション2011



Pacific International Lines (PTE) LTD にて  
左：PIL Deputy General Manager の Yvonne Koo 氏  
右：小林八戸市長

### ベトナム・シンガポールを訪問

八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：八戸市長 小林眞）では、10月22日から29日の日程でベトナムのホーチミン市、及びシンガポールを訪問しました。

今回のミッションでは、東南アジア航路を運航するPIL 社本社等、船会社の現地事務所を訪問し、経済事情について調査を行うとともに、八戸港の今後の整備方針の参考とするため、経済発展著しいベトナムのホーチミン港（SNP）、及び世界第2位のコンテナ取扱量を誇るシンガポール港（PSA）の各ターミナルを視察しました。

また、関係機関の訪問、工業団地（ベトナム・ロテコ工業団地）や大型スーパーの視察を通じて、現地の情報収集を図り、両国における県産品の販路開拓の可能性を探ってまいりました。

10月28日には、シンガポールにおいて八戸港レセプションを開催し、八戸港の紹介のほか、県産品や観光スポット等、八戸市と青森県の魅力を発信するとともに、八戸港の復興と県産品の安全性を力強くPRしてまいりました。

今回のミッションの成果を活かし、県産品の輸出促進と、八戸港の利用拡大に取り組んでまいります。



ホーチミン港（SNP, Cat Lai Terminal）の埠頭を臨む



八戸港レセプションにて、八戸市滞在中の思い出を語る、Mah Yen Ling 氏（元八戸市教育委員会 ALT）



日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所にて  
左：小林八戸市長  
中：ジョージ・リム氏（国交省 Visit Japan 大使）  
右：JNTO シンガポール事務所 足立基成 所長

# 補助金対象者拡大のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港外貿コンテナ定期航路を利用されている荷主様向けの補助金について、交付対象者を拡大しました。

これは、震災復興支援の一環として、荷主支援を通じて、震災後に落ち込んだコンテナ取扱量の回復及び貿易振興を図るものです。これを機に八戸港を是非ご利用ください。

## ■補助金制度の内容(平成23年10月1日より拡大)

### 1. 八戸港コンテナ輸送トライアル補助金

- ・事業継続期間が1年未満の企業も対象となります。
- ・従来は、過去3年間に八戸港を利用したことのない荷主様が対象でしたが、  
⇒今年度初めての定期航路のご利用で、過去に同補助金を3回利用していなければ、補助対象となります。
- ・コンテナ輸出入1回につき5万円を補助いたします(3回まで)。

### 2. 八戸港小口混載貨物輸送補助金

- ・事業継続期間が1年未満の企業も対象となります。
- ・八戸港で小口混載貨物輸送サービスをご利用の場合、貨物1㎡もしくは1tあたり3千円を補助いたします(年度内に15万円まで)。

※予算の範囲内での補助となりますので、予めご了承ください。

**お問い合わせ先**  
八戸港国際物流拠点化推進協議会  
(事務局) 八戸市商工労働部産業振興課  
貿易振興グループ  
TEL: 0178-43-9244

## 八戸港コンテナ定期航路 ロシア・ウラジオストク初寄港

八戸港の東南アジア航路を運航するPIL (Pacific International Lines)社は、震災後の八戸港寄港再開時より、同航路において、ロシアのウラジオストク港へも寄港を開始しています。特に、ウラジオストク港から八戸港へは、2～4日程度で輸入できるため、是非ご利用ください。



東南アジア航路 寄港地	
土曜便	新潟～ウラジオストク～苫小牧～八戸～基隆～台中～上海～釜山～新潟

**お問い合わせ先**  
PIL 代理店 八戸通運(株) 海運営業所  
〒039-1161 八戸市河原木字海岸 36-11  
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281

## 八戸港リーファープラグが復旧

八戸港では、東日本大震災で、冷凍コンテナ用のリーファープラグも津波の被害を受け、使用できない状態になっておりましたが、5月中旬に10基が復旧、さらに、7月末には、全部で50基のリーファープラグが使用可能となっております。

震災により、大きな被害を受けましたが、順調に回復しておりますので、多くの荷主の皆様へ八戸港を活用いただきたく存じます。



コンテナヤードのリーファープラグ

## 八戸港 港湾施設使用料減免について

青森県では、八戸港利用者を支援し、利用促進を図ることにより、物流及び企業活動等の活性化、被災地域の復興支援に資するため、八戸港に入港する船舶に対する港湾施設使用料等を減免します。

八戸港に入港する船舶を対象に、入港料や係留施設使用料、荷役機械使用料を、今年度末までは2分の1に減免しているほか、来年度以降も、引き続き、使用料の軽減措置を図ってまいりたいと考えております。

### 1. 減免対象の船舶

八戸港に入港する船舶

### 2. 減免する港湾施設使用料等

(1) 入港料 (2) 係留施設使用料 (3) 荷役機械使用料

### 3. 減免の期間及び割合

平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
6/13	3月 4月	3月 4月	3月
← 1/2 免除		← 1/3 免除	

**お問い合わせ先**  
青森県 県土整備部  
港湾空港課 港湾振興グループ  
TEL: 017-734-9676

## 八戸セミナー2011開催

八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会の主催により、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を中部圏及び首都圏の企業にPRすることを目的とし、7月26日に名古屋市・名古屋マリオットアソシアホテルで、27日には東京・東京ドームホテルで「八戸セミナー2011」を開催いたしました。

セミナーには、船会社をはじめ荷主や関係者の皆様、のべ570人（名古屋131人、東京439人）の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは主催者から、八戸市や八戸港の概要をはじめ、企業誘致や八戸港の利用促進を図るための産業振興策の紹介を行いました。

このほか、名古屋会場では八戸工業高等専門学校 校長の岡田益男氏から、「企業にとっての八戸の魅力 ～人材育成と豊かな文化」と題してご講演を、中央発條株式会社 取締役社長の高橋德行氏から、「グローバル競争を勝ち抜くために ～イノベーション拠点・八戸～」と題して、それぞれご講演をいただきました。

また、東京会場ではアルバック東北株式会社 代表取締役社長の小野信一氏から、「震災と国内生産拠点の生命線」と題してご講演を、東京鐵鋼株式会社八戸工場 資源営業部長の須郷秀一氏から、「東日本大震災 復興への取組み」と題してご講演をいただきました。さらに、名古屋・東京の両会場で、株式会社アークパワー 代表取締役社長の池邊竜一氏から、「復興支援の新しい形 八戸BPOセンター構想」と題してご講演をいただきました。

また、後半の情報交換会の場におきましては、個別に八戸市や八戸港の紹介などを行い、さらなるPRを行いました。

このセミナーを通しまして、八戸市及び八戸港のコンテナ集荷をはじめとする貿易振興策等につきまして多くの方々に関心を持っていただけたものと思っております。

今後も八戸セミナーに出席いただいた皆様と連携を密にとりながら、八戸港の貿易促進を通じた地域産業の活性化に努めてまいりたいと考えております。



会場の様子（名古屋）



八戸市の紹介をする小林市長（東京）

## 台湾・香港国際食品見本市へのブース出展



フード台北の様子



香港フードエキスポの様子

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、財団法人むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受け、①地場産品の輸出拡大による地域経済の活性化、②海外販路開拓による市場のリスク分散を目的に、中華圏の二つの商談会にブース出展しました。

一つは、6月22日から25日に台湾で開催された「フード台北2011」で、台湾内から約43,000名が、国外84カ国から約4,300名が参加する商談会です。もう一つは、8月11日から13日に開催された「香港フードエキスポ2011」で、24カ国と地域から約600の出展者が参加し、73の国と地域から約11,500名が参加する、ともにアジア最大規模の食品見本市です。

当協議会のブースには、青森県内の企業がそれぞれ5社参加し、農水産加工品、日本酒、洋菓子、健康食品のPRを行い、両国・地域のバイヤーと商談を行いました。

今回の商談会では、原発事故の影響による風評被害が懸念されましたが、会場内の日本ブースはどこも賑わい、当協議会のブースにおいても台湾では延べ3,306名が、香港では延べ2,661名が来訪し試食していただきました。

当協議会では、今回の経験・ネットワークを活かし、関係機関と協力して、八戸港を通じた更なる販路拡大、貿易振興に取り組んで参りたいと考えております。

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成 23 年 12 月現在 (天津、シンガポール、タコマ) の 3 名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課 (TEL0178-43-9244) までご連絡ください。(なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承ください。)

## REPORT

### タコマレポート



#### タコマ港コンテナ貨物取扱量 輸出が好調

タコマ・ピアスカウンティ商業会議所  
(米国ワシントン州)  
マネージャー  
ゲリー・ブラケット さん

ワシントン州の経済は日本の大地震、欧州の債務危機、アメリカ国内の予算審議の遅れ、アメリカの東海岸と中西部で起きた気象災害、そして夏のガソリン価格の高騰で大きな打撃を受けました。ワシントン州では、8月の失業率は9.3%で、総雇用者数は、2007年12月より148,000人、率にして5%下落しました。なお、タコマ市の8月の完全失業率は9.9%でした。

ルイス・マクコード統合基地の軍関係者の増加による、経済活動の成長のおかげで、タコマ地区は順調です。しかし、ファスト・コマンド金融動向調査会社が行ったアンケートによると、中流階級の軍人は最近の経済動向の影響で、消費傾向が保守的になっています。

タコマ港はここ 20 年間、著しい成長を見せています。港はこれから約 10 ～ 15 年間の短期間を中心にした戦略プロジェク

トを策定しています。2011 年 1 ～ 8 月における、タコマ港のコンテナ貨物取扱量は 2% 増加 (対前年同期比、以下同じ) し、963,537 TEU を記録しました。中でも、木材、干し草、家畜用飼料等の輸出が好調なため、輸出コンテナ貨物取扱量は 15% 増加しています。輸入コンテナ貨物取扱量は、2% 減少しましたが、これはアメリカ国民の消費意欲の低下を背景に、アジアからの輸入量が減少したことによるものです。

2011 年 1 ～ 8 月タコマ港湾貨物取扱量の注目点 (対前年同期比) :

- ・自動車の輸入は、Kia の好調な販売を反映して (台数ベースで) 50% 上昇。
- ・バルク貨物は、建設機械と農機具の輸出が好調で、(トン数ベースで) 69% 上昇。
- ・穀物を除く貨物取扱量は 732 万 4736 トンで、率にして 12% 上昇。
- ・穀物輸出は 2% 下落し、401 万 5976 トン。

タコマ・ピアス郡の商工会議所は輸出企業の支援策として、輸出会社にイー・サティファイ社による原産地証明サービスを提供しています。



タコマ港のコンテナヤードのダブルスタックトレイン (二段積み貨車)  
写真提供: Port of Tacoma

## REPORT

### 天津レポート



#### 青森県テニス代表団が 中国・天津を訪問

三八五流通グループ中国駐在代表  
葉雲彪 氏

天津市は北緯 39.13 度にあり、八戸市とほぼ同緯度の都市で、一年の中で、紅葉に染まる秋がもっとも美しくなります。9 月 22 日～ 27 日に、泉山元青森県テニス協会会長を団長とした青森県テニス代表団一行 27 人 (青森県テニス協会高橋理事長、青森県教育委員会スポーツ健康課増田課長、八戸市教育委員会教育指導課四戸課長、県内小中高校の教師、13 名の小中学生、三八五流通 (株) の幹部) が、天津を訪れました。天津と青森のテニス交流は今回が 3 回目で、天津市テニス協会は青森県とのテニス交流をとても大切にしています。昨年は、中国少年女子第 1 位の康佳琪、中国少年男子 2 位の周哲ら一行が八戸を訪問しました。

青森県テニス代表団のメンバーには小中学生が多いことから、歓迎式典は、天津市中山小学校で行われました。中山小学

校には、屋内コートが二つ、屋外コートも二つ有り、中国でも有名なテニスの強豪校で、8 人のコーチが招聘されています。天津市テニス協会の幹部で元天津市政治協商会議副主席何国模と元天津市副市長の梁爾も歓迎式典に参加しました。青森の選手たちは、テニス交流だけでなく、中国テニス協会が手配した中国文化ツアーにも参加しました。天津市の旧市街の見学、歴史的名店 (レストラン) 「狗不理」、天津・海河での夜景遊覧船ツアーを楽しみました。東南アジアで有名な霍元甲武術学校の 100 余名の学生が、代表団のために中国カンフーの実演を行ったほか、選手たちは、中国の巨大企業天津石油化学グループで、試合と工場見学を行いました。

一方、代表団のリーダーたちは、中国人民対外友好協会天津分会の劉鳳嵩会長と会見し、天津滨海新区管委員会の訪問と併せて管委員会主任劉玉友氏と会見しました。また、滨海テニス学校と天津市中山小学校を視察しました。この視察を、今後の八戸市のテニス振興において、参考にいただければ、とてもうれしく思います。泉山団長は、「今回の青少年交流は、彼らの心に美しい思い出として残ったと思います。国の未来を担う、彼らの交流により、両国の友好交流は促進された。」とコメントしました。

天津市中山小学校にて



热烈欢迎日本青森县网球友好交流团来校访问  
日本青森県テニス友好代表団のご来訪、ようこそ

# 八戸市復興計画

## 八戸市の復興

### 復興の理念と目標

- 理念
  - ・現在の市民のみならず将来の市民のためのもの
  - ・原状復旧にとどまらない、現代課題にも対応した新たなまちづくりの推進
  - ・早期の復旧と創造的な復興を目指す
- 目指す姿
  - 「より強い、より元気な、より美しい八戸」
- 4つのまちづくりの目標
  - (1) 安全・安心な暮らしの確保
  - (2) 大震災をバネにした地域活力の創出
  - (3) 北東北における八戸市の拠点性の向上
  - (4) 災害に強いまちづくりの実現

### 4つの基本方向に基づく復興施策

1 被災者の生活再建	2 地域経済の再興	3 都市基盤の再建	4 防災力の強化
(1)生活支援の充実 (2)住宅確保の支援 (3)雇用対策の強化 (4)暮らしの安心確保	(1)水産業の再興 (2)農林畜産業の再興 (3)企業活動の再興 (4)観光・サービス業の再興 (5)風評被害の防止	(1)市街地の整備 (2)港湾の整備 (3)海岸・河川の整備 (4)道路・公園・下水道等の整備 (5)公共交通の維持・確保	(1)防災体制の強化 (2)水・エネルギー対策の充実 (3)災害に強い地域づくり

### 創造的復興プロジェクト

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 津波防災まちづくりプロジェクト  | 2. 災害時安全安心プロジェクト    |
| 3. 水産拠点化推進プロジェクト    | 4. 農業復興プロジェクト       |
| 5. 八戸港活用産業活性化プロジェクト | 6. エネルギー・環境産業プロジェクト |
| 7. 「三陸復興国立公園」プロジェクト | 8. 文化・スポーツ振興プロジェクト  |

(八戸市HPより)

八戸市は、東日本大震災により大きな被害を受けた地域の社会的機能や社会経済活動の迅速な復旧を図るとともに、今回の経験・教訓を生かした更なる災害に強いまちづくりに向けて計画的な復興を目指すため、(1)復興にあたっての基本的な方向性を示すための計画、(2)復興に向けた市の施策の重点化を図る計画、(3)復興に関する国・県への要望を行うための計画という、3つの視点から、八戸市復興計画を9月26日に策定しました。

計画期間は平成23年度から平成32年度までの10か年で、復興に向けて段階的に取り組むこととしております。

八戸港に関する施策は、港湾施設の早期復旧、八戸港の整備促進や津波に対する防災機能の強化、国際コンテナ定期航路の早期再開と拡充とし、防波堤、航路泊地、コンテナターミナル等の港湾施設の早期復旧や整備促進、ポートセールス、海外販路拡大等の事業を展開することとしております。また、復興計画の中で重点的に実施する施策や事業となる「創造的復興プロジェクト」においても位置づけられております。

市では、10月下旬には、国、青森県に対し、復興計画に基づく事業への支援について、要望活動を行っており、今後も、八戸港の整備促進や防災機能の強化、港湾利用による地域産業の活性化が図られるよう、復興に向け取り組んでまいります。

### お問い合わせ先

八戸市総合政策部 政策推進課 震災復興推進室  
八戸市建設部港湾河川課  
TEL 0178-43-2111

## Q インボイスって何？

**A** 英語で「Invoice」は「請求書」を表しますが、貿易書類としては「請求書を兼ねた送り状」を指し、決済や通関に必要な重要書類の一つです。複数の用語がありますので、使い分けに注意しましょう。

単にインボイスと言った場合はほとんどの場合「Commercial Invoice / コマーシャル・インボイス」を指します。輸出貨物の品名、価格（単価・総額）、数量、輸出者名、輸入者名、取引条件等が記載され、売主（輸出者）から買主（輸入者）への代金請求書を兼ねます。この記載内容は、輸出入申告時の申告価額の根拠となり、関税・付加価値税の算出根拠ともなります。

「Proforma Invoice / プロフォーマ・インボイス」は、見積書と同じ役割があります。輸入国側が輸入許可や認可を義務付けている場合、プロフォーマ・インボイスを事前に発行して手続きを進めます。日本への輸入通関では、プロフォーマ・インボイスではなくコマーシャル・インボイスが必要です。

「Shipping Invoice / シッピング・インボイス」は、貨物代金以外に輸送経費を買手に別途請求する場合に使われます。実際には出荷案内を兼ねることも多いため、請求書としての意味合いは薄くなります。貨物代金のL/C決済の際には、シッピング・インボイスではなく、コマーシャル・インボイスを用いる方が安全です。



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

# 米国で青森県産品の モニタリング調査・展示商談会を実施

日本貿易振興機構 (JETRO)  
青森貿易情報センター  
TEL 017-734-2575  
FAX 017-773-2877  
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

ジェトロ青森では、9月14日(水)～27日(火)にかけて「青森県産品米国モニタリング調査展示商談ミッション」を実施しました。東日本大震災における原発事故による、農水産品をはじめとした青森県産品への風評被害払拭と、海外販路開拓を目的として、県内有力企業で構成するミッションを米国・ロサンゼルスに派遣、日本の農林水産物・食品の輸出先で世界第2位の同国に所在する日系及び韓国系スーパーマーケットに焦点を当て、展示商談会を実施、青森県産品のPRのためのプロモーションを行いました。

ミッション期間中2度の週末(金～日)にスーパーマーケット店頭において、イカやしめ鯖、りんごジュース、りんご酢、黒にんにくや乾燥野菜、菓子など本県で製造された農林水産加工品のプロモーションの実施と、現地一般消費者を対象とした展示即売会を開催しました。リピーターのお客様が出るほどの好評を博しました。

実際に青森県産品を購入されたお客様に対してアンケートをご記入いただき、集計を行った結果から、①原発事故があったにも関わらず、日本の食品に対し「安全」「高品質」とのイメージを持つ消費者が多かったこと、②試食販売を行ったことにより、青森県産品の品質を実際に知っていただき、現地販売されている既存商品との比較検討が出来た事など、今回の反響に繋がった要因が見えてきました。

今回は現地の日系・韓国系スーパーでプロモーションを行ったため日本人・韓国人のお客様が多かった一方、地元の方への販売が比較的少なかったこともあり、今後はこういったローカルの消費者に対してどのように青森県産品を紹介し購買に繋げるかが課題となります。ジェトロ青森としては、今回の結果を踏まえ青森県産品の輸出・米国での市場拡大に繋がるよう、引き続き県内企業をフォローアップしていきたいと考えています。



展示販売会の様子

## 八戸港の貿易概況報告 (平成23年1月～9月)

### <概況>

東日本大震災後、港湾インフラの復旧や、被災企業の生産再開に伴って、輸出入貨物も徐々に回復しつつあるが、前年の水準にはまだ届いていない。月毎の実績では、船舶の輸出や飼料原料の輸入等で前年以上の実績もみられる。

また、コンテナ通関本数は震災後3カ月ほどは低調であったが、その後月毎の扱い本数が順調に回復傾向である。

### ■平成23年1月～9月の貿易速報値 (金額単位:千円)

※資料: 八戸税関支署発表の貿易概況  
(八戸港・むつ小川原港・久慈港) から抜粋

#### 輸出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	9,648	1,009,779	78.5%	63.5%
鉄鋼くず	MT	15,243	566,079	59.8%	62.7%
有機化合物		-	363,713	-	69.1%
紙類及び同製品	MT	2,678	177,413	17.1%	16.2%
鉄鋼	MT	55,451	21,352,086	48.1%	56.4%
非鉄金属	MT	1,487	281,436	26.9%	26.9%
一般機械		-	28,152,085	-	58.9%
船舶類	NO	8	23,833,900	72.7%	80.0%
その他		-	1,290,162	-	85.1%
合計	-	-	77,026,653	-	63.1%

#### ●コンテナ貨物通関本数 ( ) 内は前年比

輸出	4,257TEU (48.2%)
輸入	5,180TEU (70.1%)
合計	9,437TEU (58.1%)

#### 輸入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	2,685	1,434,277	83.1%	64.6%
とうもろこし	MT	618,794	16,931,403	94.5%	120.8%
こうりゃん	MT	159,748	4,112,982	98.3%	114.8%
植物性油かす	MT	177,681	7,041,488	72.1%	72.2%
木材		-	361,080	-	78.2%
粗鉱物	MT	65,020	240,540	70.7%	21.0%
ニッケル鉱	MT	874,907	6,884,450	44.0%	49.3%
鉛	MT	21,767	2,527,680	80.4%	69.4%
亜鉛	MT	57,760	3,623,928	66.4%	76.8%
非鉄金属くず	MT	8,081	460,583	65.8%	66.3%
石炭・コークス・練炭	MT	399,496	5,543,133	73.9%	82.1%
肥料	MT	9,534	349,019	99.6%	98.1%
その他化学製品	MT	7,840	560,649	70.6%	77.4%
ウッドチップ	MT	334,307	6,308,371	60.0%	57.1%
織物用糸・織物		-	255,000	-	33.9%
非鉄金属	MT	54	30,613	17.3%	6.2%
金属製品		-	454,338	-	45.4%
一般機械		-	850,755	-	209.0%
電気機器		-	164,684	-	84.8%
再輸入品		-	632,798	-	54.6%
その他		-	12,616,995	-	132.9%
合計			71,384,766	-	82.5%

#### ●月別輸出入金額 (対前年比)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出	150.7%	128.4%	62.6%	9.4%	12.1%	60.0%	121.8%	66.3%	38.0%			
輸入	95.7%	130.1%	37.3%	48.0%	48.9%	83.9%	76.1%	71.1%	199.3%			

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運(株)	週1便(金)	《寄港地》 台湾(基隆、台中)、ロシア(ウラジオストク)、中国(上海)、韓国(釜山) 《接続地》 東南アジア全域、中国、豪州、欧州、南米、アフリカ他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便(水・金)	《寄港地》 韓国(釜山、釜山新港、光陽、蔚山)、中国(上海、寧波) 《接続地》 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送(株)	月1便(水)	《寄港地》 アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(火or水)	《寄港地》 横浜 《接続地》 世界各港
		井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	《寄港地》 東京・横浜 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	隔週(土)	《寄港地》 横浜、清水、名古屋 《接続地》 世界各港

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	6	15
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	10	17
香港(中国)	12	23
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	9
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	11	13
ウラジオストク(ロシア)	9	4
シンガポール	17	24
ジャカルタ(インドネシア)	26	22
バンコク(タイ)	22	23
レムチャバン(タイ)	23	15
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	23	20
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルク(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



東北地方太平洋沖地震に伴う津波の洗掘などにより、八戸港管理所が管理するポートアイランド護岸あるいは白銀北防波堤の主構造物であるケーソンが転倒流出する等の被害を受けています。

これらの洗掘を放置したままだと既設構造物の安定等に影響があることから、年明けの1月から順次埋戻し工事を行うことを予定しています。

これらの工事に伴い、白銀東航路の通行については、船長による規制を受けることとなりますが、港の安全のために必要な工事ですので、関係者のご理解とご協力をいただきながら進めてまいります。



護岸が流出したポートアイランド(右側の欠けた部分)

青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所  
TEL:0178-27-5111(内線)391 FAX:0178-27-4715

編集後記

本誌記事でもご紹介しましたが、今回のミッションでは、シンガポール・ベトナムを訪問し、八戸港をPRしてきました。初めての訪問となったベトナムは、通関ベースの日本との貿易では、2009年まで、日本への輸出が輸入を上回っていましたが、昨年は、日本からの輸入が上回っており、今後期待できる市場です。一方、ベトナムから日本に輸出されている製品で一番多いのが繊維製品です。2011年第1四半期には、日本はベトナムの繊維製品の第2の輸出市場となっています。これには、ベトナム・日本の経済連携協定が2009年10月1日に発効され、日本へ輸出する衣料品及び繊維製品に係る税率が0%となったことが背景にあるようです。私たちが目撃している衣料品の中にも、ベトナムで作られたものが多いのかもしれない。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-73-9220	FAX:0178-73-9225

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫  
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会

※航路情報や寄港地毎の所要日数等は、やむを得ず変更になる場合がございます。詳細は各代理店へご確認をお願いします。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内  
TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp